

日本学術会議 第3部 化学委員会 材料化学・分析化学分科会
(第26期・第1回)
議事要旨

日時：令和6年3月22日（金）材料化学・分析化学分科会（10：00－10：55）

場所：日本学術会議 5A-（1）会議室＋オンライン（Zoom）

出席者（敬称略）：栄長 泰明（委員長）、玉田 薫（副委員長）、齋藤 公児（幹事）、内藤 俊雄（幹事）、岡本 裕巳、阿尻 雅文、上野 祐子、加藤 知香、加藤 昌子、川崎 ナナ、関根 千津、竹内 孝江、竹岡 裕子、寺西 利治、藤本 俊幸、山下 正廣、菅原 洋子

欠席者（敬称略）：伊藤 耕三、佐藤 縁、馬場 嘉信、宮崎 あかね

議題および議事

- （1）委員紹介、委員長互選、役員の承認（敬称略、指名順）

委員長： 栄長泰明、 副委員長： 玉田 薫、

幹事：内藤俊雄、齋藤公児

（この後からの司会進行：栄長、 今回の議事録担当：内藤）

- （2）議事要旨の提出に関する委員長一任について

議事録（案）は幹事が作成後、委員に回覧し、了承が得られたものについては、最終的な微修正は委員長に一任することで了承された。

- （3）分科会委員間のメールアドレス共有について

当分科会の委員間で互いのメールアドレスを共有し、必要に応じて事務局を介さずに委員同士で直接連絡を取り合うことが了承された。なお欠席委員には別途事務局から確認する。

- （4）第26期分科会の活動に関する意見交換

玉田委員、関根委員、加藤（昌）委員、竹内委員から本分科会設置の経緯と目的について説明があった。材料と分析という従来の2つの分科会の分野を統合したことの意義と特に注力すべき課題、前期のそれぞれの分科会の活動を受けての本分科会の今後3年間の方向性などについて広範囲の視点から議論が交わされた。

(5) その他

時間の制約上、上記の議題(4)について全員が発言できなかったため、アンケートとして各自意見を寄せることになった。(締め切り：3月中)

以上 内藤記